

令和2年10月号

にこる通信

令和2年10月9日発行

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。



前期が終わり、いよいよ後期に突入といった学校が多くあります。前期の終わりということで、面談等がありましたね。お子様の、前期の様子や今後の方針についてのお話があったと思いますので、また、よつば・にこるまでお知らせ頂けたら幸いです。



にこるに着替えを置かれている方で、まだ衣がえのお済みでない場合には、お預かりしている着替えを一旦返却いたしますので、中身の入れ替えをお願い致します。

にこる室内の温度は低目に設定しております。寒いと感じるお子さまもいらっしゃいますので、にこる御利用時に、上から羽織れるような上着をお持ち頂けると助かります。

お知らせ

外出プログラムの際に、訪問先でマスクの着用を義務づけられている場合がございますので、特に外出プログラムの時には、ご自宅よりマスクを持参くださるようお願いいたします。

にこるの連絡帳袋が変わります

ファスナー部分の破損が多く見られ、配布プリントの出し入れがしづらい場合もあることから、にこるの連絡帳袋を、ひもをキュッとする布袋(「ほてい」ではなく「ぬのぶくろ」)に変更していきます。

現在使用していただいている袋が破損したときに、随時交換いたしますので、お子さまのにこるからの帰宅後に突然変わっていることもあります、ご注意願います。

にこるのコラム ～にこらむ～

火災報知器(消防法規等では火災報知機らしいです)というものがあります。熱や煙、炎を感知してベルが鳴ったりするアレです。小学生の時に、授業中に誰かがいたずらして鳴らしてしまうこともあったのではないのでしょうか(ひょっとして、これは世代的な「あるある」でしょうか?)。

誰かがいたずらで鳴らす以外にも、実際に火災が起きていないときにも鳴ってしまうことがあります。それは、ほんの少しのわずかな熱や煙を感知してしまう場合、大気圧の低下による装置の膨張が熱膨張の時と同様になってしまう場合などなど、原因は様々です。

人を物に例えるのは好きではありませんが、これが人であっても、同じようなことが言えるのではないかと思います。人の行動も、刺激を感知してそれに対する反応として為されます。しかし、多くの場合、人の行動をその人のパーソナリティ(性格や考え方)の結果として見ることが多いのではないのでしょうか。また、行動からパーソナリティを判断することも少なからずあるように感じます。本当は、ある刺激を過剰に感知してしまい反応しただけ、環境調整がうまくいかずに反応してしまっただけであるにもかかわらず、その人のパーソナリティを否定し、「適応していない」と見てしまいがちです。

ただ、その場合「整い」さえすれば、「適応している」に変わります。今まで「問題」「短所」だと思っていた部分が、「刺激を受け取ることができる」「刺激に対して反応できる」という「才能」「長所」に変わる余地まであります。

火災報知器の話に戻ります。本当は不具合があるのに、誤作動が無いことで見過ごされていたとしたら、どうでしょうか? いざ、火災が発生した場合に作動しないかもしれませんね。

放課後等デイサービス

よっば・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2

メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129